

あきた

A-TURN INFORMATION MAGAZINE

日

2014



vol.65

和

初めての土地でも
越してきて良かった!

Aターンインタビュー

NPO法人一里塚

森山大輔さん

「町の風土や人々の
あたたかさに触れ、ここが
自分の居場所だと思った」
それが秋田暮らしを決意した理由です。

Aターン者採用事業所のご紹介

NPO法人一里塚

A-TURN NAVI

データで見る

Aターン登録者の就職

秋田がんばるプロジェクト

「エナジー・イノベーション株式会社」

ディスカバー・アキタ

「日本一の納豆」

AKITTA BIYORI



A-turn interview

外資系証券会社を退職し、都会を離れ家族5人で秋田へ。
森山さんに、田舎暮らしを実現した経緯をお聞きしました。

What's A-turn?

Aターンとは？

「親の近くで暮らしたい」、「生まれ育った地元に戻りたい」というUターン希望の方も、「旅行して秋田が好きになった」、「秋田出身の妻に勧められて」というIターン希望の方も、みんな秋田に来てくださるとの願いを込め、オールターン (All Turn) の“A”と、秋田 (Akita) の“A”をかけAターンと総称しています。

「地元」に深く根づいた文化、人々の密接なつながり。秋田暮らしは毎日が楽しく充実しています。



Aターンインタビュー
NPO法人一里塚

森山大輔さん
(39歳)

休日は家庭菜園での作業が多いという森山さん。まだ時間に余裕がなく、家族で遊びに行く機会が少ないそうで「秋田にはユニークなお祭りが沢山ありますよね。今後は、家族でお祭りに行けるくらい余裕を持ったスケジュール管理をすることが目標です」と笑顔。秋田の冬を体験した感想は「もっと寒いだろうと思っていたので、このくらいなら大丈夫そうです。」

Message



町とNPOが一体となって
移住者の受け入れを支援しています

清水昭徳さん

NPO (特定非営利活動) 法人一里塚
理事長

Aターン支援事業をはじめ7年ほど経ちますが、これまでに三種町に移住された方はほとんどが年配の方でした。今回のように小さなお子さんや奥様と一緒に移住したいと希望された方は森山さんが初めてでしたので「何としても実現させてあげたい」という気持ちが強かったですね。私たちNPO法人一里塚は、ご希望に合わせた空き家の紹介はもちろん、「農業をはじめたい」という方へのさまざまな支援も行っています。ぜひお気軽にご相談ください。

地域や町民の魅力に引かれ、移住を決意

仕事が決まっても決まらなくても 三種町への移住に迷いはなかった

秋田県北西部に位置し、大根やメロン、ブルーベリーなどの農業が盛んな三種町。森山大輔さんは奥様と小学生のお子さん2人、保育園のお子さん1人の家族5人でこちらに移住し、その後、新規就農支援やAターン支援を主に活動するNPO法人「一里塚」に転職。地域産食材を使った漬物やジャムといった加工品の製造・販売を行っています。

—— 以前はどういったお仕事をされていたか？

「東京の外資系証券会社で施設管理を担当していましたが、リーマンショックなど社会情勢の変化を感じるようになり、そろそろ目を覚まさないかと思いましたが。これから先どうやって暮らそうかと考えたとき、選択肢として東北への移住がありました。小さい頃、父親の転勤で東北を転々としていたため、いつかは東北で暮らしたいという思いがあったんです。」

—— これまでに縁もゆかりもない三種町を移住先に選んだ理由を教えてください。

「Aターン登録後、情報収集をして3つの候補地が上がった。そのひとつが三種町でした。まずは三種町のセミナーに参加し、他の移住者の方々から体験談を聞きました。さらに2泊3日の『ふるさと体験ツアー』にも参加しました。手作り郷土食を味わったり、農業体験をしたり。楽しみながら地元の雰囲気を体感できたことが大きいですね。他の候補地にも足を運びましたが、三種町はツアー費用の助成や住宅探しの支援など、町やNPOによる受け入れ体制が整っているのが大変助かりました。」

子どもたちも秋田の豊かな自然の中で のんびりと過ごしています

—— Aターン後の感想を教えてください。
「始めは生活環境の違いに戸惑いましたが、三種町の人たちは誰かが困っていると必ず手を差し伸べる。外から来た私たちにも気軽に声をかけてくれるんです。距離が縮まるにつれ、地域住民のつながりの強さ

を実感しましたね。それから、やはり自然の豊かさには驚かされます。現在、築40年の一軒家を借りて家族5人で暮らしていますが、ふと見上げると変わった鳥がいたり、庭でウグイスの鳴き声が聴こえたり…。妻も子どもたちも、都会のアパート暮らしでは味わえない四季の変化を感じながら、充実した毎日を過ごしています。仕事面では、これまでのデスクワークから食品の加工という全く異なる職種への転職です。地元のお母さんたちにゼロから教わり漬物を作っていますが、なかなかうまくいかず奮闘の毎日です(笑)。これからももっと勉強して、この仕事を次世代に引き継げるようになりたいですね。」

—— 最後に、Aターンを検討している方へメッセージをお願いします。

「急いで決めるのではなく、じっくり時間をかけて計画的に。私のように秋田にゆかりのない方は、実際に候補地へ何度か足を運び、その土地の空気や自然を体感してみることが成功の秘訣です。ご家族全員が納得したうえで決めてくださいね。」



先日は山菜採りに行き、その保存の仕方を地元のお母さんたちから教わった。知らなかったことを知り、さまざまなものを作る技術を身に付ける、その過程にやりがいを感じていると話す森山さん。さらに「加工グループみたねや」として販売も行っている。「直接お客さまに販売する面白さを感じています。意見や感想を聞きながら、それを味に反映できるようにになりたいですね。」



Recommend Company

Aターン者採用事業所のご紹介

NPO法人一里塚は、三種町及び近隣地域を対象に「安心、安全、賑わいのある町づくり」を目指して設立されました。少子高齢化にはじまる、教育・文化・スポーツ・福祉・環境・産業・地域資源保全・都市農村交流などの諸問題を解決していく使命感を持って、田舎の良さを活かした町づくり活動を展開しています。



NPO法人一里塚は
秋田県や三種町と協働して
皆様の移住・就農をサポートします。

「三種町に移住したい」「三種町で農業がしたい」という方はお気軽にご相談ください。空き家の紹介をはじめ、ふるさと体験ツアーやセミナーなども開催しております。また、農業経営をはじめには、土地や機械はもちろん、知識、技術、資金も必要です。就農相談をはじめ、営農計画の作成や農業体験など、皆様の就農を全力でサポートいたします。

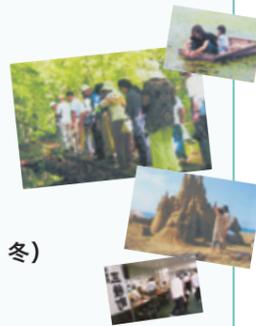
DATA

NPO法人 一里塚

〒018-2407 秋田県山本郡三種町浜田字東浜田322-2
TEL・FAX 0185-88-8804
npo-ichirizuka@theia.ocn.ne.jp

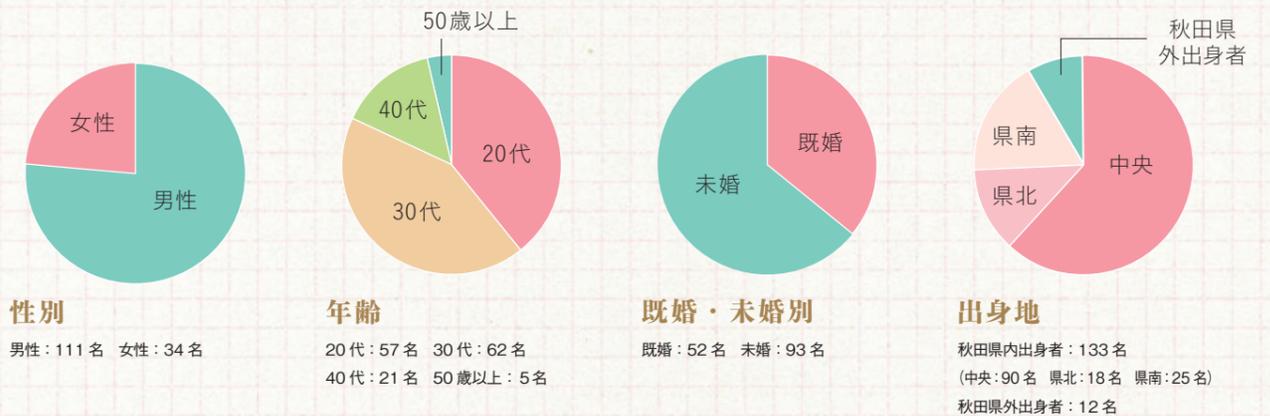
NPO法人一里塚の主な事業活動

- 新規就農者支援
- Aターン支援（三種町との協働）
 - ・ 空き家支援
 - ・ 就農支援
- 就業力育成支援
- ふるさと体験ツアーの実施（夏・冬）
- 過疎地域活性化支援
- 三種町最大イベント「サンドクラフト」支援
- じゅんさい摘み取りあっせん
- NPO法人一里塚東京支部「東京トマトの会」との共同出店

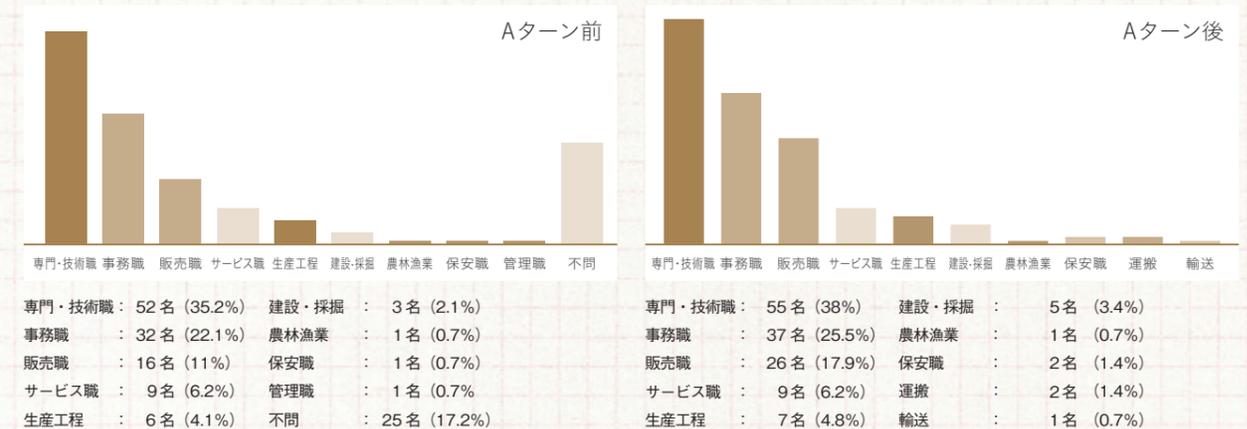
データで見る
Aターン登録者の就職

昨年度（平成25年4月～平成26年3月）は、1年間で145名の登録者が秋田での就職を叶えました。（計算すると、3日に1人は登録者がAターン就職しています！）

「どんな人がAターン就職しているの?」「希望の職種に就けた人はいるの?」などの疑問をお持ちのみなさん、今回は、昨年度の就職状況をデータにまとめてみました。みなさんの就職活動のご参考にしてください。



Aターン前後の職種



Aターン就職面接会 in東京

秋田県内企業の採用担当者との個別面談をはじめ、Aターンに関する個別相談、情報提供を行います。Aターン専用求人を出している企業と面談できる貴重なチャンス！ぜひご参加ください。参加企業はホームページでご確認できます。応募に関するお問い合わせはAターンプラザ秋田（フリーダイヤル0120-122-255）までご連絡ください。

日時：平成26年7月12日（土）13:00～16:00

場所：ベルサール八重洲3F

（東京都中央区八重洲1-3-7 八重洲ファーストフィナンシャルビル内）
※JR東京駅八重洲北口より徒歩3分、地下鉄日本橋駅A7出口直結

Aターン就職相談会 in秋田

秋田県・労働局・財団の担当者がAターン就職に関するご相談をお受けいたします。ご本人はもちろん、ご家族の方のご相談も大歓迎！お気軽にご来場ください。

日時：平成26年8月14日（木）・15日（金）

10:00～17:00

場所：アトリオン3階特設会場

（秋田市中通二丁目3-8 秋田市広小路アトリオン）
※秋田駅より徒歩5分 ※受付はハローワークプラザアトリオンで行います。

Facebookアカウントをお持ちの方は、ぜひ「いいね!」をお願いします。

秋田県ふるさと定住機構 Facebook はじめました!!

Aターンに関するタイムリーなイベント情報や秋田の身近な話題をお届けする Facebook をはじめました。秋田の魅力満載です!

秋田がんばるプロジェクト

秋田からエネルギー革命を起こしたい

原発事故をきっかけに再生可能エネルギーへの関心が集まる中、ひとりの男性がエネルギーの変革を起こすべく立ち上がった。合い言葉は「みんなの発電所」。誰もが参加できる発電事業、その内容とは？

秋田市内の土地を有効活用し大規模太陽光発電所を建設

豊かな自然に囲まれた長閑な農村地帯、秋田市河辺大沢地区。2013年11月、この地に発電量約1.6メガワットの太陽光発電所が完成した。このメガソーラー（※1）事業を立ち上げたのは、エナジー・イノベーション株式会社の代表取締役、小野隆史さん。長年活用されることのなかった約4.1ヘクタールもの遊休地を活用し、事業費の一部を市民から集めるといった新しい形でのメガソーラー建設に至った。

小野さんはLPガス販売店を営む父親の背中を見て育ち、さまざまな種類のエネルギーについて学ぶうち、いつしか再生可能エネルギーに興味を持つようになった。「太陽、地熱、風力…。私たちのそばにはたくさん再生可能エネルギーがあります。このクリーンなエネルギーを、地元で活かしていきたい。初期費用は高いですが、長い目で考えたらほんのわずか。私たちにとってより身近で快適な発電事業の形を作るため、思い切ってメガソーラーの世界に飛び

込みました。」

※1) 1メガワット以上の大規模太陽光発電

きたたんぼやいぶりがっこなど秋田県産品による配当も

発電所建設に適した土地を探し始めたころ、秋田市河辺大沢地区の地権者に話を聞く機会があった。元々原野だった土地を共同管理している12人の地権者は、いずれ自分たちの高齢化が進み、管理が行き届かなくなることを危惧しているという。小野さんは、早速発電所の話を持ちかけた。「長年この土地を有効活用したいと考えていた地権者の皆さんは、全員賛同してくださいました。現在は地権者や地域の皆さんが『おらほ（自分たち）の発電所』と言って、除草・除雪作業やパトロールなどをしてくれています。」

地域住民はもちろん、もっと多くの方に参加して喜んでもらいたい。そんな発想から生まれたのが『県産品応援型』市民ファンドだ。発電した電気を電力会社へ売電し、その売電収入が出資者への配当となる仕組みで、現金配当のほかに1年に1回、秋田



田畑と山々に囲まれた農村地域に約7,000枚の太陽光パネルが並ぶ姿は圧巻だ。これまで毎年の除草作業や税金負担が発生するだけだった土地が、環境に優しいエネルギーを作り出す有益な土地へと生まれ変わった

県産品による配当の選択ができる。現在すでに募集は締め切ったが、県内外から30名以上の申し込みがあったという。

よりクリーンな社会を目指しエネルギー自給率を高めるアクションを

出資者、地域住民、さらに秋田の生産者との繋がりが生まれ、新しい価値を創出したメガソーラー事業。今後はこの事業をもっと多くの人に広めたいと考えている。「再生可能エネルギー専門の電力会社を作りたい。エネルギーを自給自足する喜びを世界中の人に味わってもらいたいです。」



土地の管理は、地権者と地域住民からなる「農業法人おさわ」が請け負っている。小野さんは今後、「発電所を作りたい」という企業や地域住民に対し、発電所作りに役立つノウハウを無料で提供していきたいという

「単なる地域貢献だけにとどまらずエネルギーの「地産地消」を秋田から世界へ広めていきたい。」

小野 隆史さん ONO RYUSHI

おの りゅうし〇秋田市出身。父親が営むLPガス販売店に就職。再生可能エネルギーについて学び、2013年、エナジー・イノベーション株式会社を設立。秋田市河辺大沢に大規模太陽光発電所を建設した。



NO.005

DISCOVER AKITA

ディスカバー・アキタ

VOL.005

アキタになんて何にもないでしょー、なんていわせない！都会に負けない、アキタならではのカルチャーをご紹介します。

【今回の再発見】
日本一の納豆



全国納豆鑑評会で最優秀賞を獲得した「ふっくら大粒 ミニ2」

株式会社ヤマダフーズ
本社・工場／秋田県仙北郡美郷町野荒町字街道ノ上279
TEL0182-37-2246



納豆発祥の地・秋田には日本一おいしい納豆がある。

あまり知られていないが、秋田は納豆発祥の地である。今から900年以上前に起こった後三年の役で、源義家が横手市金沢地区の農民に兵糧用の煮大豆を作らせた。それが糸を引くようになり、意外においしかったため納豆として後世に伝わったといわれている。横手市の金沢公園には「納豆発祥の地」という石碑も建てられている。着物姿に赤いほっぺの“おはよう娘

なっちゃん”は、秋田ではおなじみ「おはよう納豆」のキャラクターだ。そんな「おはよう納豆」が今年2月、納豆界のゴールドメダルに輝いた。仙北郡美郷町に本社を置く株式会社ヤマダフーズの「おはよう納豆ふっくら大粒ミニ2」が、全国納豆鑑評会で最優秀賞を獲得したのだ。「秋田県産の大豆リュウホウを使用し、芯までふっくらと蒸しあげ、適度な食

感を残しました。発売から20年経つ定番商品です」と企画室の鶴岡さんが教えてくれた。口に入れると、一粒一粒は大きいが歯ごたえは柔らかく、大豆そのものの豊かな風味が楽しめる。これは毎日でも食べたい。秋田には日本一おいしい納豆がある。おいしい米も、おいしい醤油もある。あなたも秋田で「秋田流納豆生活」、はじめてみませんか？

秋田さおいで♪

Aターン者採用しています！

7月12日(土)東京で開催する「Aターン就職相談会」参加企業です。※詳しくは「A-TURN NAVI」をチェック!!

Recommend

001



菱明三菱電機機器販売株式会社

三菱電機の秋田県代理店として昭和23年に設立。メーカーの代理店として、販売から設計・施工、保守サービスまでメーカー品質を提供。JR新幹線のシステム、産業用ロボット・シーケンサなどのFA機器、エレベーター、空調設備、太陽光発電設備、受変電設備、オーロラマルチビジョンなど幅広く取り扱っております。

中途採用実績

24年度5名 / 25年度7名

メッセージ

営業力と技術力の二つを兼ね備えた人材を育成し、次世代の技術総合会社を目指しております。秋田を変えたい、豊かにしたいという志を持つ方のご応募、お待ちしております。

DATA

菱明三菱電機機器販売株式会社
〒010-0924
秋田県秋田市旭北寺町1-2
☎018-862-5511(代表)
FAX: 018-865-1099
http://www.ryomei.co.jp

Recommend

002



猿田興業株式会社

商事部、事業部、不動産部の三つの部門があります。商事部は火災報知器やスプリンクラーの設計・施工・メンテナンス及び消防関連製品の販売を、事業部では製紙メーカーや製薬メーカーの原料や製品の物流関連の業務を請け負っています。不動産部では5つのオフィスビルと駐車場を運営しています。

中途採用実績

24年度19名 / 25年度7名

メッセージ

猿田興業の他、グループ6社で事業を展開しています。それぞれの適性や能力、希望を引き出し、最大限の活躍ができる配属や人材登用を積極的に行っています。

DATA

猿田興業株式会社
〒010-0951
秋田県秋田市山王6丁目1番24号
☎018-863-1550(代表)
http://www.saruta.co.jp
soumu@saruta.co.jp

Aターン年間スケジュール

- 6月 情報誌「あきた日和 夏号」発行
- 7月 Aターン就職面接会
(7月12日 東京：ベルサール八重洲)
- 8月 Aターン就職相談会
(8月14・15日 秋田：アトリオン)
- 9月 情報誌「あきた日和 秋号」発行
- 11月 Aターン交流会 (11月8日 東京：ふるさと暮らし情報センター)
登録内容確認調査 (再調査)
- 12月 情報誌「あきた日和 冬号」発行
- 1月 Aターン就職相談会 (1月上旬 秋田市)
Aターン就職面接会 (東京)
- 3月 情報誌「あきた日和 春号」発行

通年業務

- ・ **Aターンに関する相談**
Aターン就職相談をはじめとした定住にかかわる各種相談に応じています。
- ・ **Aターン求人情報の提供**
ホームページから随時閲覧できるほか、希望する方には毎週金曜日にメールでも配信しています。
- ・ **企業と人材のマッチング**
求人開拓や登録者と求人のマッチングなどを行います。
- ・ **リクエスト制度**
企業及び登録者からの面接リクエストをお受けします。
- ・ **Aターン企業面接交通費助成金**
企業との採用面接にかかる交通費を助成します。

*スケジュール内容、時期は変更になる場合もあります。なお、相談会等イベントの開催内容など、詳細につきましてはホームページに随時掲載いたします。

【担当者のつぶやき】

◇Aターンインタビューにお答えくださった、NPO法人一里塚の清水理事長、森山さん、ありがとうございます。インタビュー中、「コーヒー飲む?」「お腹すいてない?パンあるよ」「コーヒーおかわりあるよ」と常に私たち取材スタッフを気遣ってくださる清水理事長と森山さん。帰りには森山さんお手製のがっことジャムをお土産にいただきました。その後立ち寄ったじゅんさいの館では、じゅんさいの食べ方をそれはそれは丁寧に教えてくださるお兄さん。レジのおかあさんは「また来てな〜」と温かいお言葉。・・・これが三種町最大の魅力なのでしょう! 仙台出身で東京の大手証券会社に勤めら

れていた森山さんがどうして三種町に移住したのか、最初はとても疑問に思っていましたが、実際に三種町の皆さんの温かさに触れて、一日で三種町が大好きになりました。夏はビッグイベント「サンドクラフト2014inみたね」が開かれるので、またあの温かい人たちに会いに行こうと思っています。

◇ついに定住機構でもFacebookを始めました! 先日は担当職員6名でFacebook勉強会を行い、みんなやる気満々。Aターン関連イベント情報や、秋田の魅力を楽しくお届けします。ぜひご覧ください!

事務局 佐川睦美

Aターン登録についてのお願い

住所等の登録内容変更のほか、Aターンしたため登録を取り消したい場合には、電話・メール (info@furusato-teiju.jp) でご連絡ください。特に住所が変わった場合には、情報がお手元に届かなくなる場合もありますので速やかにご連絡ください。郵便物が届かない方には、電話でご連絡させていただく場合がございます。

【Aターンプラザ秋田のご案内】

●Aターンプラザ秋田

相談日 月曜日～金曜日 (年末年始は除く)
相談時間 9:00～17:45
場所 〒102-0093
東京都千代田区平河町2-6-3
都道府県会館7F (秋田県東京事務所内)
アクセス 東京メトロ
半蔵門線/南北線/有楽町線
(永田町)下車 出口5
★地下道にて都道府県会館B1に、直接入れます。
連絡先 0120-122-255 FAX: 03-5212-9116
email: a-plaza@coral.broba.cc



●北東北三県 名古屋合同事務所

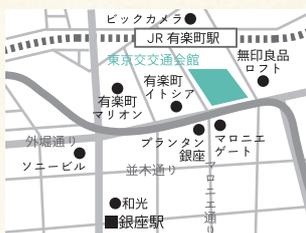
〒460-0008
名古屋市中区栄四丁目1-1中1ビル4F
TEL: 052-252-2412

●北東北三県 大阪合同事務所

〒530-0001
大阪府北区梅田1-3-1-900 大阪駅前第一ビル9F
TEL: 06-6341-7897

●Aターンプラザ秋田 (土曜日窓口)

相談日 土曜日 (年末年始は除く)
相談時間 12:00～18:00
場所 〒100-0006
東京都千代田区有楽町2-10-1
東京交通会館6F
(ふるさと回帰支援センター・東京内)
アクセス JR山手線・京浜東北線 有楽町駅
(京橋口・中央口 (銀座側))下車
徒歩1分
連絡先 TEL: 03-6273-4401 (呼出)



土曜日の相談窓口がパワーアップ!

土曜日相談窓口 (東京都有楽町) では、6月より新たに「あきた移住情報相談員」を配置し、就職・生活の両面から皆様のご相談にお答えします。秋田への移住に関するご希望の条件・地域に関する情報の提供や、市町村が行う「空き家バンク」などの支援制度をご紹介します。お気軽にご相談ください。